

横浜花博（GREEN×EXPO 2027）に、 汚染土を持ち込まないで

横浜花博と汚染土を考える市民の会 事務局補佐 矢野恵理子

GREEN×EXPO 2027の会場へ「復興再生土」と呼ばれている除染で生じた放射性物質を含んだ土壌＝**汚染土** を持ち込むとの報道を受け、地元市民が「横浜花博と汚染土を考える市民の会」を立ち上げました。

これまでの報道

「2027年開催される国際園芸博(Green×Expo)に、「復興再生土」を利用しないのか」

— 2025年11月 神奈川県選出の草間剛衆議院議員が国土交通委員会で質問 神奈川新聞

「2027年国際園芸博覧会で除染土活用を検討」2027年政府安全性、理解醸成へ

—2025年12月31日 福島民報

「除染土を横浜の国際園芸博(Green×Expo)で活用する調整に入った」

— 2026年4月20日 読売新聞

「『復興再生土』の利用を首都圏で推進することが重要」

— 2026年3月13日 牧野復興大臣 発言

「自民党東日本大震災復興加速化本部 除染土「首都圏利用促進」を首相に提言」

—2026年6月12日 共同通信

私たちが懸念していること

01 なぜ集めたものを拡散するの？

環境省が示す放射線対策の3原則は、「取り除く」「遮る」「遠ざける」とHPで謳っているのに、なぜ拡散しようとするの？

02 そもそも除染した時に出た土壌なのに

福島県中から集めた除染により生じた汚染土壌、2015年から6年かけて、居住空間から持ち出したものを、どうして私たちの居住空間に持ってくるのだろうか？

03 突然の搬入があるのでは？

さいたま市・仙台市では発表から4・5日で搬入され、住民への説明もなかった。横浜にも突然搬入されるのでは？

国は2045年までに、福島県外で最終処分する方針を法律で定めています。

私たちは、放射性物質を含んだ土壌は、拡散せず、集中管理すべきだと考えています。

一緒に考え、声を上げましょう

ACTION 01

オンライン署名のお願い

<https://c.org/Qp49NWR5Pv>



ACTION 02

詳しい情報を確認 HP

<https://tinyurl.com/2226rrt8>



ACTION 03

活動を支援 寄付のお願い

横浜銀行 瀬谷支店 普通 6241376 とおやま のりこ

※個人名の口座ですが、この団体のために開設したものです。活動以外で利用することはありません。

発足集会

横浜花博と汚染土を考える市民の会
発足集会

<https://bit.ly/4iNsPyD>

2026 **9/22** 火・祝
10:00 - 11:30

横浜市旭区民文化センター
サンハートホール

オンライン配信あり



放射能汚染土問題についての講演(60分)

青木一政さん(放射能拡散に反対する会、ちくりん舎)

瀬川嘉之さん(高木学校)

満田夏花さん(FoE Japan)



横浜花博と汚染土を考える市民の会